

原子力・エネルギー教育支援事業交付金事業評価報告書

1. 交付金事業の名称 原子力・エネルギー教育支援事業
2. 交付金事業の事業主体 和歌山県
3. 交付金事業の実施場所 和歌山県
4. 交付金事業の概要

原子力・エネルギーの学習に必要な以下の内容を実施した。

【県事業】

(1) 実験器具・実験材料の整備

エタノール燃料電池発電キット エタノール燃料電池学習キット 小型真空ポンプ オイルミストトラップ 真空ポンプオイル
ワイヤレス温度計 ワイヤレス pH 計 ワイヤレス照度計 E-キット Liquid エタノール
Amplite™ グルコース定量アッセイ（比色） Amplite™ グルコース定量アッセイ（蛍光） を整備、活用した。

(2) 施設見学の実施

京都大学複合原子力科学研究所、SPring-8、近畿大学原子力研究所を見学した。

5. 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

事業に要した経費 3,524,028 円

交付金充当額 3,524,028 円

6. 交付金事業の成果及び評価

当事業により原子力・エネルギーについて生徒等の理解が促進されたと回答した割合【理解度】は、実験器具・実験材料の整備事業が目標 85% に対して実績 85%、施設見学事業が目標 85% に対して実績 92% だった。実験器具・実験材料の整備、施設見学事業を実施したことにより、放射線や原子力を含むエネルギーに関して、基本的な原理の理解はもとより、実験の解析手法や様々な科学研究への応用についても生徒等の理解が促進された。

原子力・エネルギーに関する教育への環境整備として当事業が促進されたと回答した割合【満足度】は、実験器具・実験材料の整備事業が目標 85% に対して実績 93%、施設見学事業が目標 85% に対して実績 91% だった。本事業を実施したことにより、原子力・エネルギーに関する教育のための環境整備として実験器具・実験材料の整備、施設見学事業が促進されたと評価できる。

原子力・エネルギー教育支援事業交付金事業評価報告書

1. 交付金事業の名称 原子力・エネルギー教育支援事業
2. 交付金事業の事業主体 和歌山県
3. 交付金事業の実施場所 和歌山県
4. 交付金事業の概要

原子力・エネルギーの学習に必要な以下の内容を実施した。

【県事業】

(1) 実験器具・実験材料の整備

- ・原子力・放射線の学習に関する教材の整備

放射線測定実験セットを整備し、放射線の学習に活用した。

- ・発電・エネルギーの学習に関する教材の整備

レゴ エデュケーション SPIKE プライムエネルギーセット等を整備し、発電・エネルギーの学習に活用した。

(2) 施設見学の実施

なし

5. 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

事業に要した経費 499,180 円

交付金充当額 499,180 円

6. 交付金事業の成果及び評価

原子力・エネルギーに関する教育への環境整備として当事業が促進されたと回答した割合【満足度】は、申請時には満足度を85%と見込んでいたが、実施後の調査では75%という結果となった。主な要因として、実験道具の納期が遅れたことにより、十分な準備期間や実験時間を確保できなかった点が挙げられる。そのため、予定していた内容の一部が実施困難となり、児童・生徒が十分に体験を深められなかったことが満足度低下につながったと考えられる。一方で、実験に対する【理解度】は高く、目標85%に対して実績90%という結果を得た。また、「今後も継続して実験を行いたい」という前向きな意見も多く、教材としての有用性は高かったと感じる。今後は準備期間を十分に確保し、より充実した学習活動につなげたいと考えている。